

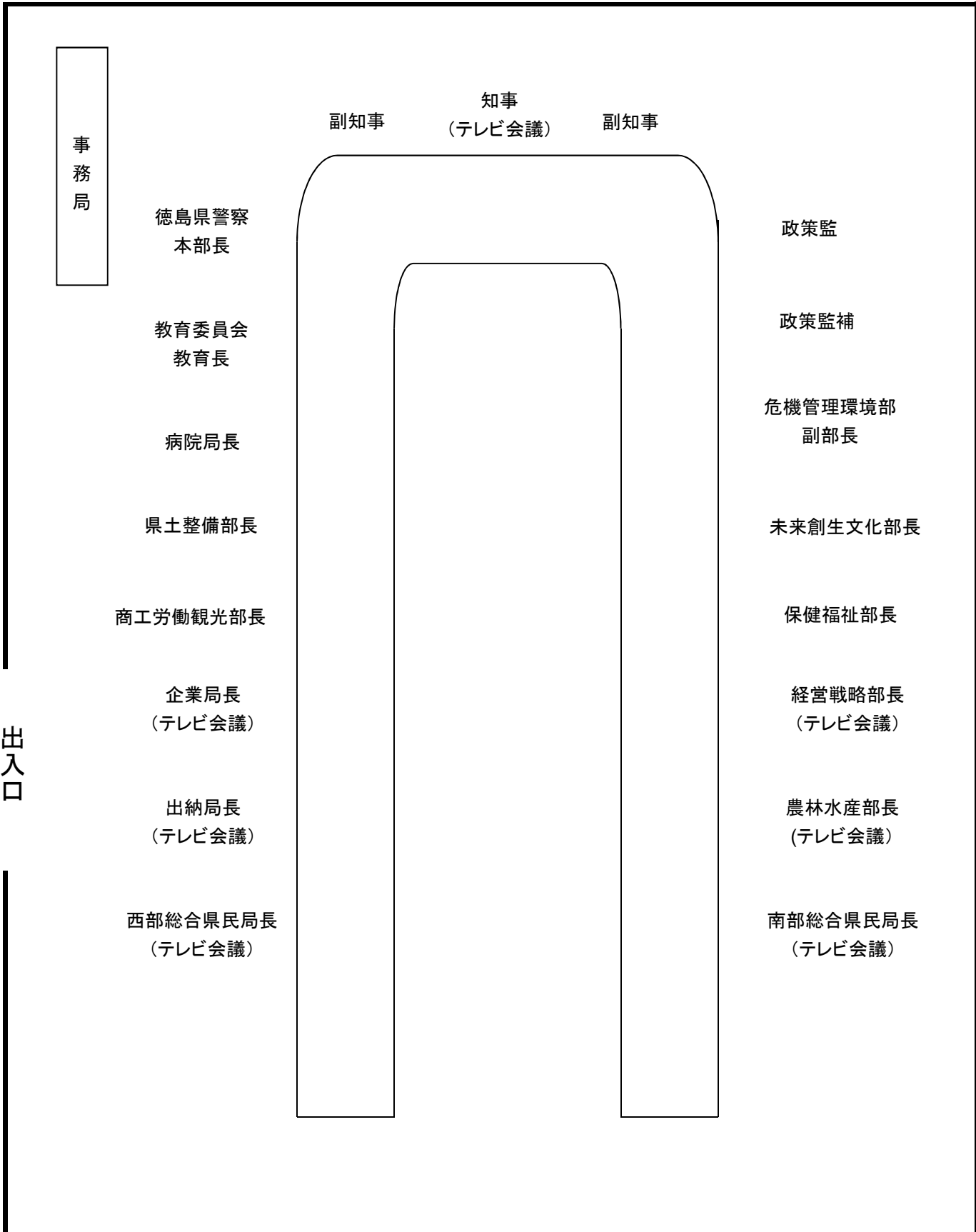
第35回 徳島県新型コロナウイルス感染症対策本部会議
(徳島県新型インフルエンザ等対策本部会議)

日 時：令和2年10月17日(土)
17時00分から
場 所：県庁3階 特別会議室

◎協議事項

新型コロナウイルス感染症患者の発生について

徳島県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 配席図



令和2年10月17日
保健福祉部

新型コロナウイルス感染症の発生について

【発生状況】

- 昨日、及び本日、徳島県立保健製薬環境センターの検体検査の結果、県内で「150例目から158例目」となる新規感染者を確認。
- 年代は10代から20代の男女合わせて「9名」で、いずれも「学生」。
- この度の感染者は、同日に会食及びカラオケに行っていることから、濃厚接触による一連のものと判断。
- 県新型コロナウイルス対策専門家会議においても「クラスター」であると判断されたところ。

【対応状況】

- 現在、早急に「濃厚接触者」、「接触者」の絞り込みを進めており、検査及び陽性者の隔離により、感染拡大防止に全力を挙げているところ。
- 併せて、感染源の探索を行い、他所での感染発生を防止する。

【全国的な傾向、注意喚起】

- 新型コロナウイルス感染症対策分科会によると、感染リスクを高めやすい場面として「飲酒を伴う懇親会」「大人数や深夜におよぶ飲食」など、「7つの場面」が挙げられており、それぞれの場面における感染防止対策の徹底が求められる。
- 県専門家会議からも、今回のクラスター事例を参考に、クラスターが起こりうることを注意喚起する必要があるとご意見をいただいている。
- 改めて、
 - ・ 飲食店であっても、飲食中以外の時間は、マスクの着用を徹底するとともに、大声は控えること
 - ・ 大人数での会食はなるべく避け、同席のグループ内であっても、できる限り、座席が対面となることを避けて、適切な距離を確保すること
 - ・ 大皿での飲食や回し飲みを避けることなど、「飲酒を伴う懇親会」などの場面での注意喚起が必要。
- また、全国においては大学運動部での寮生活などを通じた集団発生など、学生生活を営む中での大規模な感染事例が認められていることから、改めて若年層に向けた注意喚起が必要。

10/17(土)時点

○ とくしまアラートに係る指標について

感染の状況			医療提供体制の負荷			監視体制		
①直近1週間 (10/10～10/16) の 新規報告者数	②先週(10/3～ 10/9)の新規報告 者数との比較	③感染経路 不明割合	④病床のひっ迫具合			⑤療養者数	検査件数	⑥PCR陽性率
			病床全体	うち重症者用	(参考) 宿泊療養施設 稼働率			
8人 うち、60歳以上 (0人)	先週より 多い ※先週 1人 (0人)	0% (0/8)	(対最大確保数) 4% (8/200) (対現時点確保数) 4% (8/200)	(対最大確保数) 0% (0/25) (対現時点確保数) 0% (0/25)	0% (0/150)	8人 (入院者:8人 宿泊療養者:0人)	385件 ※先週の 検査件数360件	2.1% (8/385)

(参考)とくしまアラート発動基準

ステージ Ⅰ	10人 以上	直近1週間が 先週1週間より 多い	50%	-	-	-	-	-
ステージ Ⅱ	30人 以上			(対最大確保数)20% (対現時点確保数)25%	-	-	-	-
ステージ Ⅲ	100人 以上			-	100人 以上	-	10%	

※病床のひっ迫具合、療養者数は、

10月17日(土) 午前0時 現在

※直近1週間の新規報告者数、感染経路不明割合、検査件数、PCR陽性率、の基準期間は、

10月10日(土)

～

10月16日(金)

※PCR陽性率は、県検査のほか、医療機関による検査結果を含み、民間検査会社による検査結果を除く。

なお、医療機関による検査数は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システムより得られた情報に基づく。

※とくしまアラートの発動基準としては、①～⑥の指標を総合的に判断してステージを決定する。

※地方部においては、特に、①「直近1週間の新規報告者数」、②「直近1週間と先週1週間の比較」、③「感染経路不明割合」を重視する。